

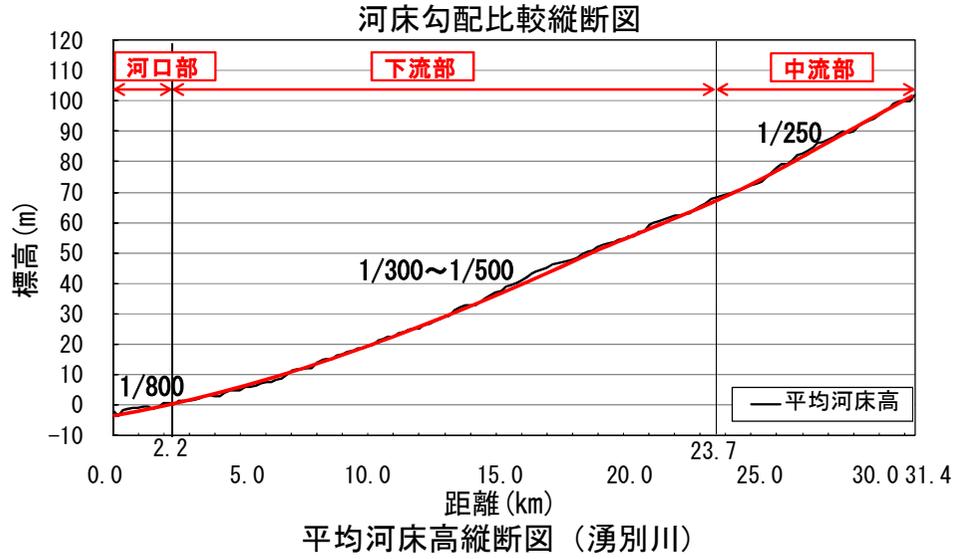
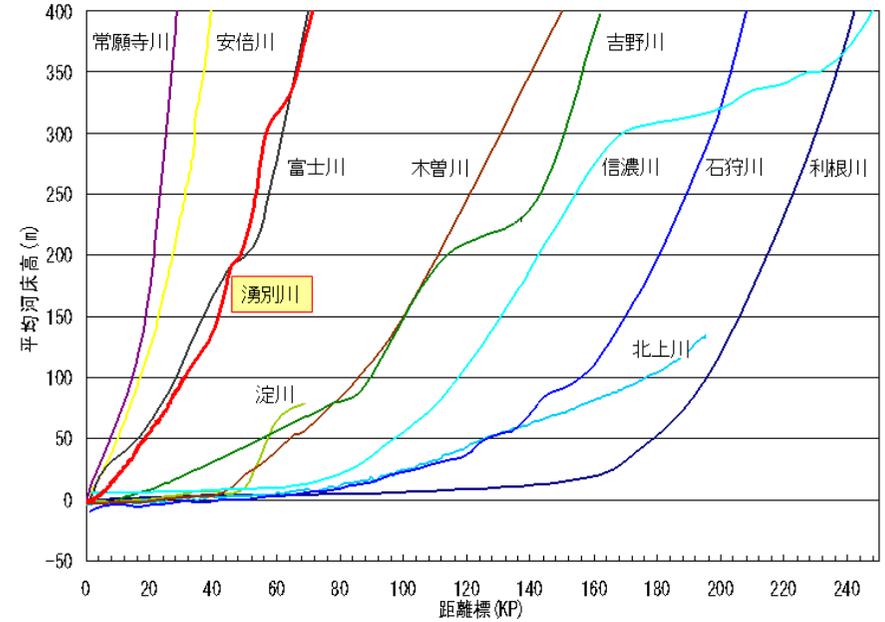
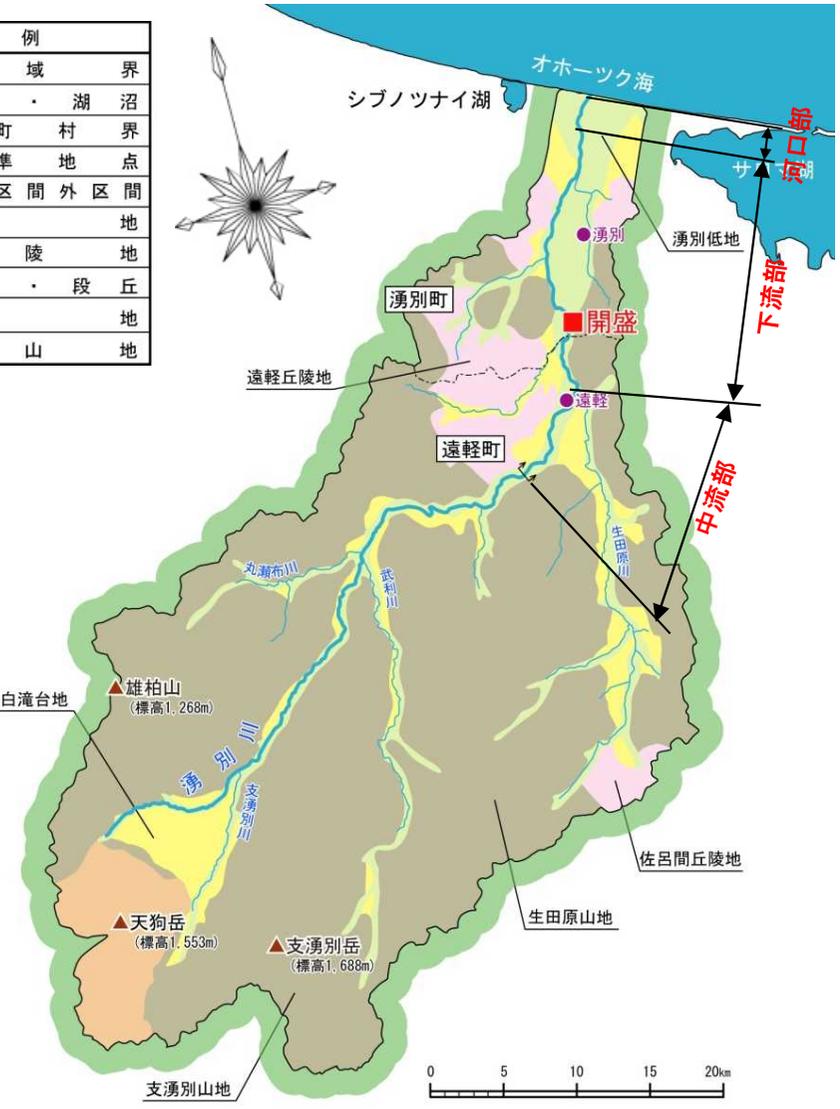
湧別川の概要

<河川の特徴>

湧別川流域の地形① 河道の特性

◆ 湧別川の河床勾配は、河口付近で1/800程度、下流部で1/300~1/500程度、中流部で1/250程度、上流部で1/100以上と、急勾配となっている。

凡 例	
	流域界
	河川・湖沼
	市町村界
	基準地点
	指定区間外区間
	山地
	丘陵地
	台地・段丘
	低地
	火山地



湧別川流域の地形② 流域の地形特性

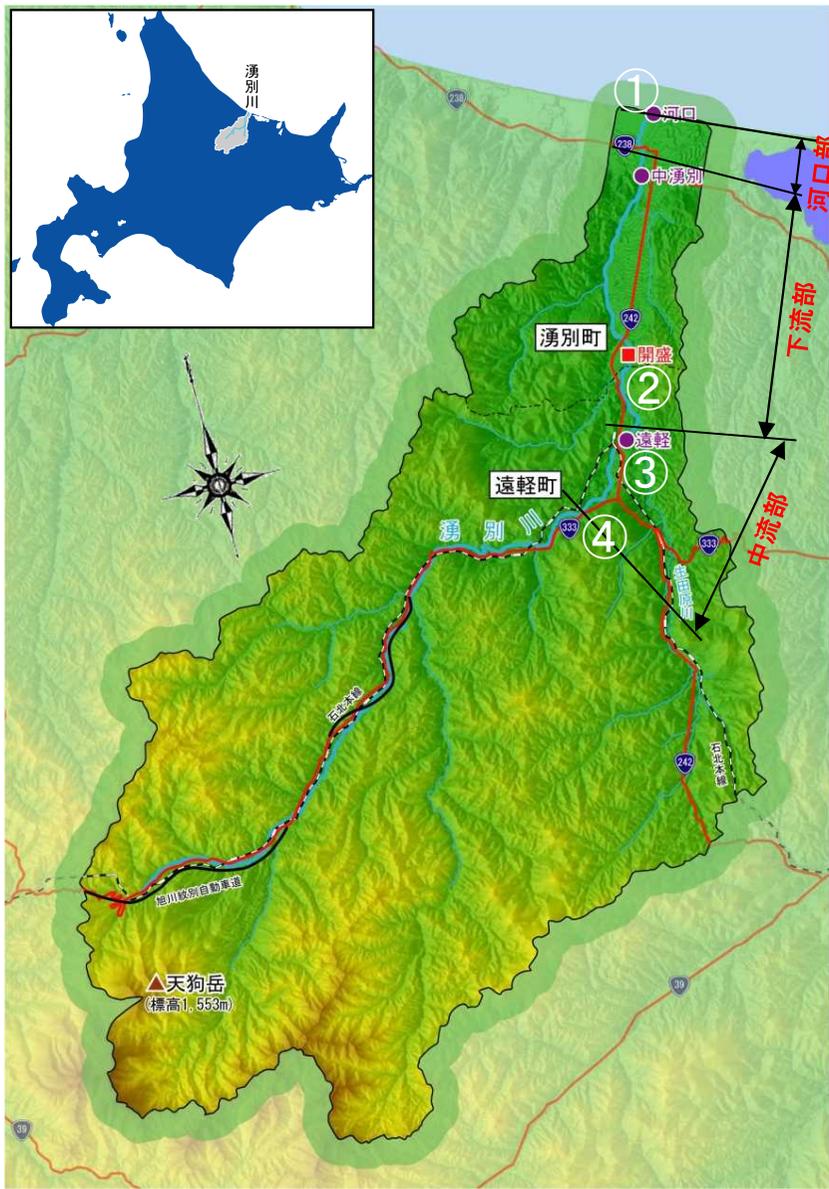
- ◆地形の大部分は山地、丘陵地であり、低地は主に最下流部に分布する。
- ◆生田原川から河口までの下流部は、川幅が広く砂州が形成され、網状に流れる。



①沿川に湧別市街地が形成され、河口部は緩勾配で河道が大きく蛇行している。



②急勾配区間で、川幅が広く複列砂州が形成され、滞筋も変動し網状に流下している。



地形図



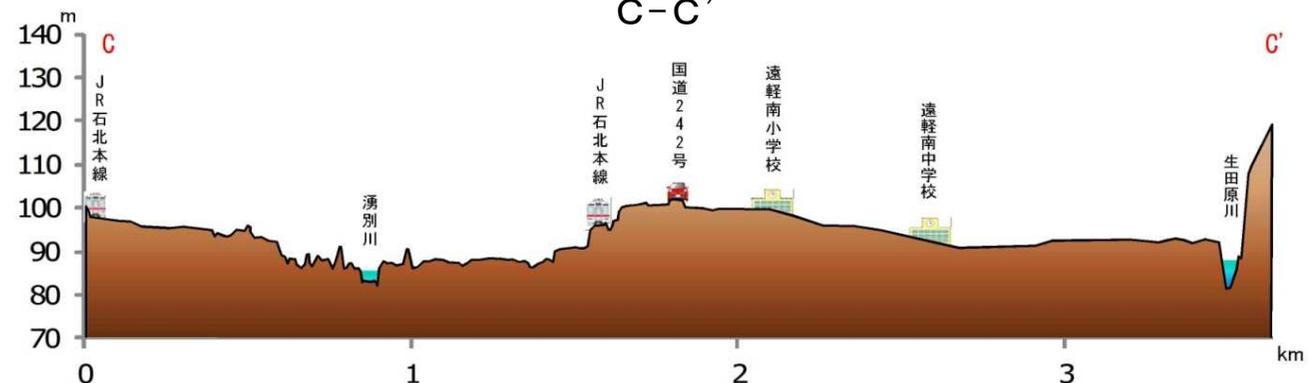
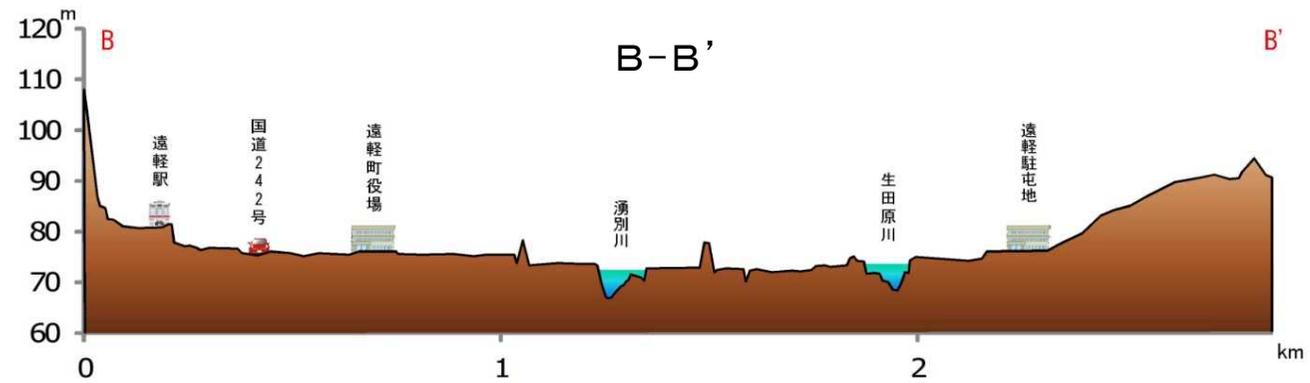
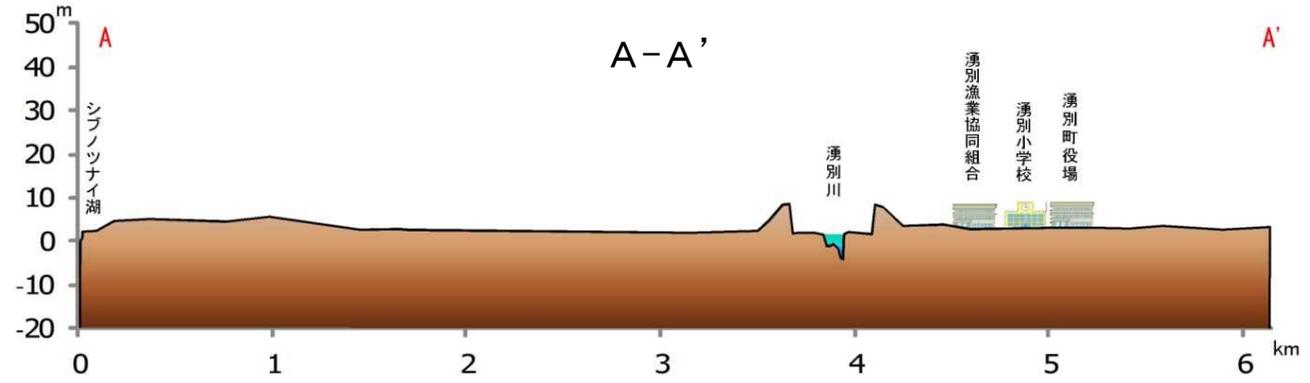
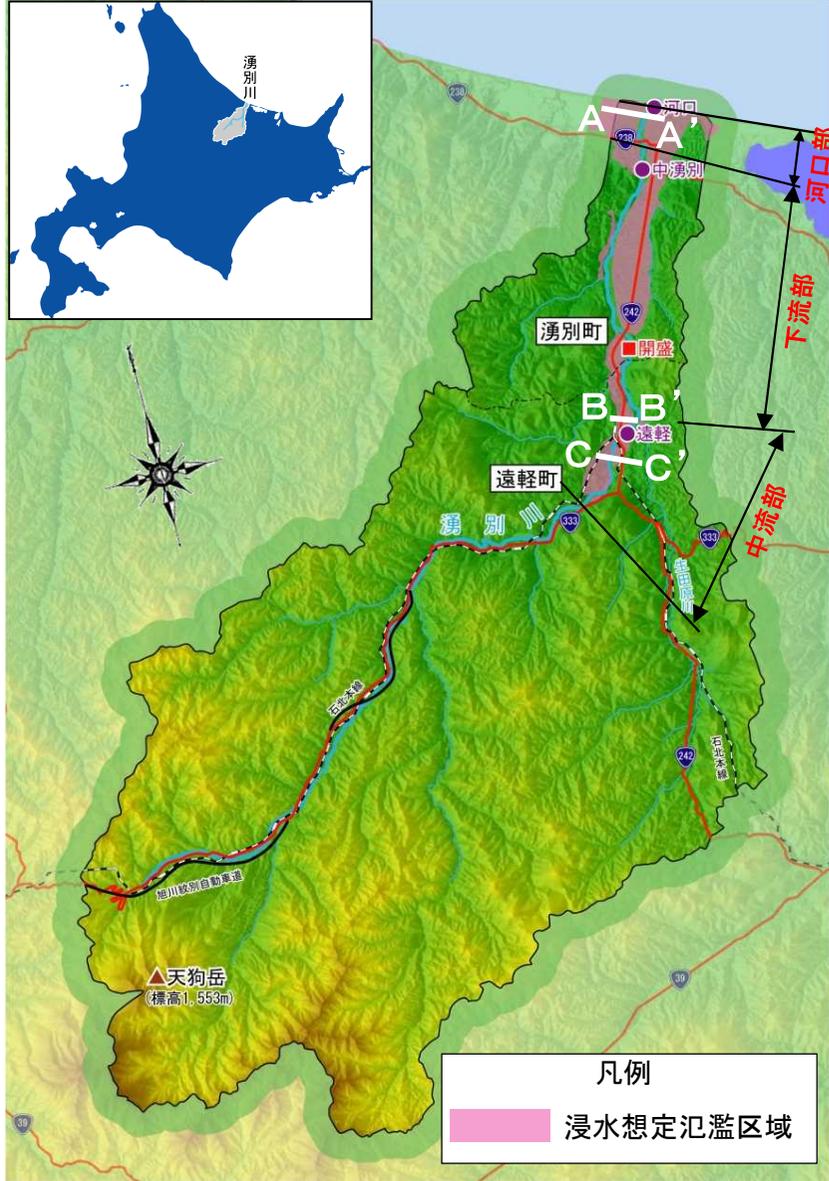
③市街地では多様な高水敷利用が行われている。



④河道内には交互砂州が形成されている。

湧別川流域の地形③ 河川周辺の地形特性

◆ 河口部の河川周辺は低地が広がり、下流域や中流域は低地から緩やかに台地や段丘が形成されている。



湧別川流域の地質特性

- ◆ 流域の地質は、主に半固結—固結堆積物及び火山性岩石から構成されている。
 - ・ 海岸沿いの低地は砂礫が分布し、それが内陸山地の河谷沿いにのびている。
 - ・ 中流の丘陵地には、砂岩・泥岩の互層及び火山性岩石の流紋岩等が分布している。
 - ・ 上流の山地には半固結—固結堆積物の粘板岩等が分布している。
- ◆ 河道横断箇所地質は、源流域から下流域まで主に軟弱な未固結堆積物となっている。

凡 例	
	流 域 界
	河 川 ・ 湖 沼
	市 町 村 界
	基 準 地 点
	指 定 区 間 外 区 間
	未 固 結 堆 積 物 (砂 礫 等)
	半 固 結 — 固 結 堆 積 物 (粘 板 岩、砂 岩、泥 岩 互 層 等)
	火 山 性 岩 石 (軽 石 流 堆 積 物)
	火 山 性 岩 石 (凝 灰 岩)
	火 山 性 岩 石 (安 山 岩、流 紋 岩 等)
	深 成 岩 類 (花 崗 岩)



地質図